

Ⅲ

具体的に取り組む にあたって

- 1 柱1 支え合いの力が強くなる 地域のしくみづくり
 - (1) 顔の見える関係が生まれる 地域の土壌づくり … 34ページ
 - (2) 支え合いが育ちやすい 地域の環境づくり …… 39ページ
 - (3) みんなで支え合う 地域のしくみづくり …… 50ページ
- 2 柱2 一人ひとりに合った生活しやすい環境づくり …… 61ページ

※本文中、下線_____を引いている文言は、事業・用語説明があります。

※市や市社協の支援策の表中、[市社協]の記載がないものは市の支援策です。

柱1 支え合いの力が強くなる 地域のしくみづくり

(1) 顔の見える関係が生まれる 地域の土壌づくり

① 顔の見える関係をつくろう

地域住民が、その地域の一員であるという意識や地域に住む人々に関心を持ち、誰もがお互いを思いやる心を育てていくことが大切です。地域に関心を持ち、日常的なあいさつや声かけなどを通して知り合いが増え、次第に親密度が深まり、顔の見える関係が生まれます。その先に「助け合う」「支え合う」関係はつくることができると思います。

【座談会やアンケート調査で出された意見】

- ◆ 地域の中で日常的にあいさつが交わされるような住民同士の関係づくりが大切
- ◆ 地域住民のつながりが希薄になってきている
- ◆ 地域のためという意識が薄くなってきている
- ◆ 近所とのつきあいが少なくなった
- ◆ 個人のマナーが低下している。特に、「交通」「ごみ」「犬猫飼育」
- ◆ 地域における支え合いや助け合い活動のために必要なことは、「隣近所の住民同士の普段からのつきあい」と回答した方の割合…55.1%

【共通の方向性】

- ◆ あいさつが自然にできる地域づくりに取り組もう
- ◆ 地域に住む人が、お互いに気に掛け合えるような雰囲気づくりに取り組もう
- ◆ 「人を思いやる心」「支え合う心」を育もう
- ◆ 「マナーを知り、守る心」を育もう

【座談会で出された取り組みのアイデア】

自分や家族でできること	地域でできること
<ul style="list-style-type: none">・ 自分からあいさつをする・ 転入者がいたら声をかける・ 回覧板は顔を見て渡すようにする・ 行事のときは誘い合うようにする・ 家庭で奉仕活動の大切さを教える・ 大人が高齢者や障害者をいたわる姿を子どもに見せる・ 子どものしつけのためにも、大人のマナーを高める・ ルールを守るよう心掛ける	<ul style="list-style-type: none">・ 地域を挙げて、あいさつ運動をする・ 行事をしてお互いのつながりをつくる・ 夏の大清掃など、共に汗する機会をつくる・ 地域住民が友達になれる仕掛けづくりを考える・ 子どもたちに祭りやペーロンなど地域の伝統行事を体験させ、愛郷心を育てる・ ごみや犬猫のフンについては、パトロールを行い、回覧や看板の設置などをする・ 地域でマナーの勉強会を開く

【市や市社協の支援策】

学校や地域での福祉教育の推進	
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもへの支援：小中学校での「心の時間」の設定、[市社協]福祉体験学習等への支援など ●地域全般への支援：地域での認知症サポーター養成講座や地域福祉出前講座の開催など
マナー向上の推進	
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ●交通マナー：保育所などでの交通安全指導、高齢者への交通安全教室、交通指導員による毎朝の交通指導の実施など ●ごみマナー：分別チラシやマナーチラシの配布、自治会等への分別説明会や環境イベントの開催、リサイクル推進員の配置、ポイ捨て等防止対策事業の推進など ●犬猫飼育マナー：犬猫飼育マナー出前講座の開催、まちなこ不妊化事業の推進など

事業・用語説明

■「心の時間」の設定(学校教育課)

豊かな人間性に関わる内容について、各学校が週に1回、15分程度、子どもが考えたり、話し合ったりする活動の場を設定しています。

■福祉体験学習等への支援(市社協)

小中学校等での車イスやアイマスクを使用しての福祉体験学習への実技指導及び講話を行います。

■認知症サポーター養成講座(高齢者すこやか支援課)

認知症を理解し、自分や家族・ご近所の身近な問題として考え、応援者となっていただくよう、地域または学校や企業等に出向き講座を開催します。

■地域福祉出前講座(福祉総務課)

地域に出向き、長崎市の地域福祉の方向性の説明や、地域福祉活動を行う上での参考としていただくため、地域の活動例などを紹介します。

■まちなこ不妊化事業の推進(動物管理センター)

飼い主不明の猫を不妊化させ、猫の繁殖抑制、糞尿等による生活環境被害等を減少させるものです。

●●地域ではこんな活動も♪●●

「公園づくり」を通じた地域の連携！

上長崎小校区では、残土処理場であった片淵近隣公園を有効に活用するために、平成15年に自治会の方々が協力して整備しました。ここは残土処理場としての役割だけでなく、貯水池として災害防止のためにも有効に活用されています。

その公園を気持ちよく利用するために、自治会や消防団、福祉施設、中学校、少年野球団など公園を利用する12団体などが協働し、整備当初から毎月1回継続して清掃活動を行っています。この活動は、清掃活動としてだけでなく、清掃後に公園の利用時間や場所を決める話し合いをするなど利用者間のコミュニケーションの場としての役割も果たしています。

誰もが気持ちよく利用できる公園づくりを通して、地域内の連携や協働が図られみなさんの顔の見える関係が生まれているんですね。



※その他にも、地域住民の“顔の見える関係づくり”や“世代間交流”のためのイベントや伝統行事の継承のための活動など各地域で活動がたくさん行われています。

一例ですが、66～74ページに紹介しています。

② 地域活動へ参加してみよう

「助け合う」「支え合う」関係をつくるために、地域のかた同士の顔見知りの関係づくりが大切です。地域では様々な団体が行事を催したり、地域活動に取り組んだりしています。地域活動団体に加入していなくても参加できるような、地域の行事や市民大清掃などに気軽に、楽しみながら参加してみることで、地域のかたとふれあう機会が増え、顔の見える関係が生まれます。

また、地域のかた同士のふれあいを通して、地域でどんな団体が活動しているか、どんな行事や活動をしているのかが分かり、その団体の魅力を知ること、「加入したい」「自分も一緒に活動したい」という気持ちも生まれ、地域のかたとのつながりができてきます。

【座談会やアンケート調査で出された意見】

- ◆若者とのコミュニケーションの場が少ない、一人一人の力をもっと出してほしい
- ◆色々な会議や行事に参加する人が同じ
- ◆郷土芸能を体験する機会が少ない、伝統行事への参加者が少なく存続が難しい
- ◆地域行事への参加の呼びかけが不足。参加を大いにしたいが、できていない
- ◆地域団体が特に力を入れている活動の意見で多いのは、「環境保護（清掃）」「運動会・祭りなどの行事」「高齢者支援」「子どもの健全育成」「防犯活動」
- ◆地域活動に参加しやすくなるための環境や条件の意見で多いのは、「新しい人が参加しやすい雰囲気」「気軽に参加できる体制（会員制にしない等）」「活動情報の発信」

【共通の方向性】

- ◆“気軽に”“できるときに”“楽しみながら”地域活動に参加しよう
- ◆地域活動を始めたいと思った人が情報を入手したり、気軽に相談できたりする体制の充実を図ろう

【座談会で出された取り組みのアイデア】

自分や家族でできること	地域でできること
<ul style="list-style-type: none">・まず、参加してみる・地域の行事には家族で参加する・子どもの頃から地域の行事に参加する・親がまず関心をもつ	<ul style="list-style-type: none">・広報紙などで行事や活動をPRする・役員の負担が減るように協力する・年間行事の一覧表を分かりやすく作る・新しい人が参加しやすい雰囲気をつくる（気軽に声をかける）・地域活動の計画・企画段階から様々な世代に参加してもらう・世代間で交流できる行事を開催する・子どもの交流をきっかけに、おとな・高齢者の交流につなげる

【市や市社協の支援策】

地域活動への参加促進	
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動の周知：気軽に参加しやすい機会の周知（市民大清掃など）、活動事例の紹介や活動内容などを掲載した手引書の作成 ● 講座等の開催：運動する機会の提供（地域スポーツ教室、ウォーキング教室、ラジオ体操など）、健康教室の開催（高血圧・糖尿病予防など）、介護予防への支援（認知症予防、運動機能向上のための出前講座）など
地域活動団体への参加促進	
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動団体の周知：自治会、老人クラブ、子ども会、育成協などのホームページの充実、自治会に関する相談・情報提供など
ボランティア・NPO等の活動への参加促進	
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流の場の提供：市民活動センター「ランタナ」の活用（相談、登録、斡旋） ● 社会参加の機会の提供：団塊シニア世代への支援（相談受付や情報提供、団塊シニア世代の社会参加への支援、シルバー人材センターへの支援） [市社協]サマーボランティア・キャンペーンやボランティア出前講座など

事業・用語説明

■ 地域スポーツ教室（スポーツ振興課）

誰でもどこでも楽しめるレクリエーション・スポーツの体験教室を実施しています。（東西南北ブロック各1回開催）

■ 市自治会、老人クラブのホームページ

「長崎市役所」ホームページから「自治会」「老人クラブ」で検索

■ 子ども会、育成協のホームページ

長崎市の子育て応援情報サイト「イーカオ」で検索

■ 市民活動センター「ランタナ」

市民活動団体やNPO、ボランティアなど非営利で公益的な活動をしているの方々のための拠点施設として開放しています。

■ 団塊シニア世代への情報提供、社会参加への支援（市民協働推進室）

NBC 長崎放送（株）が企画・製作するラジオ生ワイド番組『集まれ！飛び出せ！団塊フレンズ』における様々な情報発信と公開放送で団塊シニア世代の社会参加を促し、生きがいのある地域社会の実現につなげる取り組みです。毎週土曜日に生放送をしています。

●● 地域ではこんな活動も♪ ●●

地域の安全、みんなで見守る「夜警パトロール」

毎年年末になると、市内のあちこちで「夜警パトロール」の音が響きます。



ここでは、三原団地自治会と三原市営アパート自治会合同パトロールの様子をご紹介します。

団地ができた当初から継続しているこの活動は、小さな子どもから大人まで40名近くのかたが参加。2グループに分かれて拍子木を打ち鳴らしながら地域を練り歩きます。「火の用心！」参加者の元気な声が地域みんなの気持ちを一つにします。地域の安全とコミュニケーションのための大切な活動となっていますね。

■ シルバー人材センター（福祉総務課）

高齢者の豊富な経験と能力を生かせる、臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務を、企業、家庭、公共団体などから引き受け、登録会員に対し就業の機会を提供しています。原則として60歳以上で、働く意欲のある健康なかならなどなたでも会員になることができます。報酬は、会員の従事した仕事に応じて、配分金として支払われます。（連絡先：TEL 842-9500）

■ サマーボランティア・キャンペーン（市社協）

児童・生徒や学生及び一般の方々のボランティア体験の場として、7月末から9月下旬までの期間中、福祉施設等でのボランティア体験を支援します。

■ ボランティア出前講座（市社協）

ボランティア活動を行うきっかけづくりを目的に、講話や車イス、アイマスク体験等を行います。（随時）

●● 地域ではこんな活動も♪ ●●

「街をきれいに」を一人一人が心に掲げて

長崎市最南端の町、野母崎樺島町。その豊かな自然から、多くの釣り客が訪れます。かばしまクリーンアップクラブは、地元住民によって結成された団体。きれいな環境を保つため、定期的に沿岸の清掃活動を行っています。旧野母崎町が長崎市と合併したのをきっかけに結成。メンバーは十数名で、沿岸のごみ拾いや除草作業などを行います。「強制的に参加させるのではなく、自主的によりよいまちづくりに貢献してほしい」という思いから、参加の呼びかけはせず、一人一人が自ら活動に参加してきました。自主的に参加したメンバーだから結成から現在まで退会者はゼロ。毎回ほぼ全員が集まって活動を行っています。よりよいまちづくりは住民一人一人の意識から。その思いを強く実感する活動です。



●●地域ではこんな活動も♪●●

「横尾の宝を復活!!」グリーン広場整備

横尾小学校内にある、子どもたちの体験の場として愛されていたグリーン広場。老朽化によって2年間閉鎖されていましたが、再び子どもたちが活用できる場所にしようと、横尾中学校区青少年育成協議会が中心となり、自治会、PTA、子ども会と共にこの活動を実現！活動は平成27年7月から8月にかけての計5回。PTAや回覧板などで周知し、毎回50名以上（延べ250名）の参加があり、事前に作業のシミュレーションを行っていたことで当日は予定以上に作業が進みました。

横尾地区では、日頃から地域活動が盛んなため、自治会や学校との連携も強く、まち全体で協働しあえる環境が整っています。地域の方々の横尾を想う気持ちによって、子どもからお年寄りまで、誰もが住みよいまちがつけられているんですね。



階段整備の様子

～地域の団体の紹介～

地域には、いろいろな団体や組織があり、それぞれ活発な活動をしています。各種団体や組織はそれぞれの目的に沿った活動をしています。各種団体が協力や連携をすることで、地域での支え合いの力はさらに強まります。

- 自治会・・・生活する上で、とても大事なことだけど、一人の力では解決できないことを、みんなの力で解決していこうとするのが、地域住民の自治組織である「自治会」です。身近な問題解決の力強い味方です。
- 連合自治会・・・各自治会の上部組織として、概ね小学校区単位で組織されているのが、「連合自治会」です。一つの自治会では無理な問題は、連合自治会で解決の方法を探ります。
- 民生委員・児童委員・・・地域住民の相談相手になったり、必要な支援を行ったりする、大事な役目を担ってくれている人。地域と福祉行政とのパイプ役としても活躍しています。
- 老人クラブ・・・お年寄りの方が長年培ってこられた豊かな知識や経験を生かし、生きがいと健康づくりのためのいろいろな社会活動を通じて、老後の生活を豊かなものとするとともに、地域に貢献しようとする自主組織です。
- 青少年育成協議会・・・中学校区もしくは小学校区を単位として、「地域の子どもは、地域で育てる」の理念のもと、青少年の健全育成や非行・事故防止のため、地域ぐるみで活動を行う団体です。
- PTA・・・学校ごとに組織された、保護者と先生が連携して、家庭と学校と地域における児童生徒の幸福な成長を図るための団体です。
- 消防団・・・「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神で、地域の安全と安心を守るために活躍する団体です。地域における消防・防災の中核的存在です。
- 自主防災組織・・・いざという時に少しでも災害による被害の軽減を図ることを目的に、自治会単位などで防災啓発を行う自主組織です。